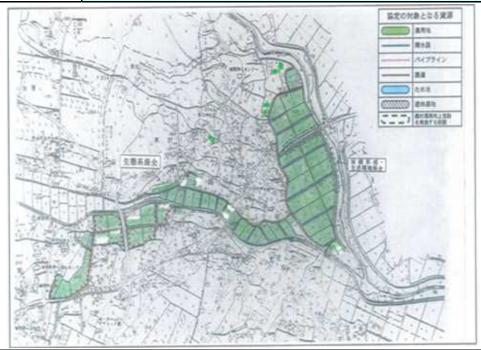
土師みずほの会活動組織



対象農用地		農業用施設					農地維持		
〔農地維持〕 37.	7 ha	開水路	パイプライン	農道	ため池		資源向上 (共同活動)		
〔資源向上〕 37.	7 ha	19 k	m 1.8 km	9 km	0 箇所		資源向]上(長	寿命化)
農業者 約		70 名 🥻	舌動開始年度	平成 1	9 年度	;	活動	16	年目
農業者以外 の 構成団体	土師自治会・土師ひゃくしょう塾・土師子供会・土師子供育成会 土師老人会・消防団・消防OB会・土師青年会								
本地域は、笠間市の南東部(旧岩間町)に位置し、単県圃場整備事業(昭和40年代)によって整備された水田地帯です。 この事業に取り組む前は、農業用施設の管理を水利組合が、ポケットパーク等の管理を土師ひゃくしょう塾が行っていました。									

土師みずほの会活動組織

◆令和4年度 上半期の活動報告◆



【時期】4月 【内容】水路、農道、農業用施設の診断 および今年度の補修計画を立てた。



【時期】4月 【内容】刈払機安全対策講習会を行った。



【時期】5月・7月 【内容】水路、農道の除草を行った。



【時期】8月~11月 【内容】ソバの栽培。休耕地を利用して ソバの栽培を行った。地域敬老会で手 打ち蕎麦を提供する。



◆令和4年度 下半期のスケジュール◆

11月	ソバ刈り、唐箕立て				
11月	ポケットパーク花壇の植栽				
11月~12月	土水路のU字溝設置(自主施工)				
1月	用水路・農道の法面、堤防の草焼き				
2月	排水路の泥上げ				

【時期】年間を通しての維持管理

【内容】景観形成としてポケットパークの植栽・除草、生態系保全としてメダカ池の除草等を行っている。

◆活動において工夫していること◆

・地域の方に活動状況を理解してもらえるように、機関紙「みずほの会通信」の発行回数を増やしている。 ・農地への竹の繁殖を防ぐため、涸沼川、桜川堤防の竹の伐採等を行い、農地維持・景観形成に務めている。

◆今後の展望◆

コロナウイルス感染防止のため、地域住民の交流の場となっていた「敬老会」、「コミュニティー会」等の行事の中止が続いており、コロナ禍以前の強い地域の結束がうすれつつある。行事開催方法を工夫し、活気あふれる地域を取り戻す様にしたい。